

# 夫の前妻逆襲が始まった

おめでたハネムーンしてる間に

# 長谷川理恵

38



スクープ撮

## 小林幸子がどんどんビンボーになっていく実況中継

58



## 美木鼻ロングブレスも人生も苦しくなってからが勝負です

54

ダイエット

## 新夫婦考 西田敏行 妻よりUターン別居という決断

あなたはどの派に属する?

## 女性の大金持ち運命の分かれ道

母とリヤカーの日々から歩く100億円へ。2間に9人家族からスイーツ女王へ

猛暑もぶっ飛ぶスクープ満載合併号8月23・30日号 特別定価400円

特別付録BIGBANGピンナップ



東方神起ほか「SMTOWN」独占ショット最速公開

## 摘出スクープ

# 名門私立中学最悪のいじめめ事件

保護者たちが怒りと失望で震えた。教育現場はどこまで壊れていくのか



大特集 カラダがなるリリダー 大野智の底力



綾小路きみまろ 大爆笑家族 川柳



あぁ美元も整形も二重が重に返る人

## 谷子私が出たら発言の波

## 南雲医師 水シャワーとガムで老いない夏

## 持田



香織 34

## 気功師夫婦に3億円新居の不気味

## 小林麻耶と結婚報にパーンク

ただいま2軍のハンカチ王子

## 美智子愛あるお言葉

なぜか お金が貯まる人の口癖 お財布 性格

話題 ヒンヤ〜リ スカイツリーだけじゃない

水族館 東京行列 スポットガイド

絶対保存版リスト 女性医療ジャーナリストが足で探した

女の病気はこのドクター-102人!

大特集 韓流ドラマの名シーン50

ばあば特別対談

爆笑NG発言

ギョウの料理

横田めぐみ写真展

乳がん 子宮がん

卵巣がん 更年期<sup>ほか</sup>

# 女の病気

ゴッドハンド

# 名医102人リスト

名医がかかりたい名医も!

最新検査、豊富な手術例、細やかなカウンセリングetc.

女性は年代によってかかりやすい病気があることをご存じでしたか？ そこには初潮とともに分泌量が増えはじめ、女性の体を守ってくれる“女性ホルモン=エストロゲン”のバランスが関係する場合があります。20~30代をピークに徐々に減少してゆき、閉経を迎えると激減。特に分泌量が減少し始めるオーバ40世代は、女性ならではの病気も増えてくるのです。そこで、女性がかかりやすい病気とその名医102人を紹介。女性の体とメンタルを理解したうえで治療してくれるゴッドハンドばかりです！

## 女性ホルモン量の変化と女性に起こりやすい年代別の病気や症状

「お肌もからだも心も整えてくれる女性ホルモン」  
（増田美加著・たいわん文庫）より



医者名/医療機関名	住所/電話番号	推薦ポイント
<b>86 大井律子</b> 私のクリニック目白	東京都豊島区目白1-4-1 ホテルメッツ 目白1F / ☎03-5992-5550	腰痛、関節痛など年齢を重ねるとともに増すさまざまな“痛み”に個々の症状に合わせた治療を行う。運動によるセルフケアのアドバイスもしてくれる。
<b>87 町田英一</b> 高田馬場病院	東京都豊島区高田3-8-9 ☎03-3971-5114	女性に多い外反母趾、巻き爪に関する著書もある第一人者。外反母趾はできるだけ手術をせずにインソールを作り、巻き爪はマチワイヤを使って矯正する。
<b>88 山田朱織</b> 16号整形外科	神奈川県相模原市中央区高根1-3-7 ☎042-776-2211	女性に悩む人が多い腰痛・肩こりは合わない枕が原因になっていることも多い。整形外科医としてオーダーメイドの“整形外科枕”を開発。現在7000人待ちと大人気。
<b>89 川上紀明</b> 名城病院 整形外科/脊椎脊髄センター	愛知県名古屋市中区三の丸1-3-1 ☎052-201-5311	MRIやレントゲンだけでなく理学療法的アプローチも。脊椎脊髄のスペシャリストとして、現在悩んでいる腰痛だけではなく、将来に起こりうる腰痛や周辺の異常も発見してくれる。
<b>90 武田淳也</b> スポーツ・栄養クリニック	福岡県福岡市中央区薬院1-5-6 ☎092-716-5550	日本初のピラティススタジオ「Pilates Lab」(東京・代官山/福岡) 併設の医療機関。姿勢と身体の使い方・栄養の摂り方など本質的な改善を目指す診療を行う。

## 頭痛外来(脳神経内科、脳神経外科)

<b>91 清水俊彦</b> 脳神経センター センtralクリニック 頭痛外来	東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター3F / ☎03-5568-8700	頭痛外来でおそらく日本で最も多くの症例を診療。片頭痛に詳しく、治らなかった頭痛が治った人も多い。片頭痛に関連する脳過敏症候群という新しい病気が国際的に提唱し注目。
<b>92 工藤千秋</b> くどうちあき脳神経外科クリニック	東京都大田区大森北1-23-10 ☎03-5767-0226	頭痛と脳・心の専門家。さまざまな面から“痛みの原因”を探り、西洋医療のみならず、漢方薬、鉄サプリを用いて総合的アプローチ。心因的な痛みも相談できる。
<b>93 鈴木一郎</b> 日本赤十字医療センター 脳神経外科	東京都渋谷区広尾4-1-22 ☎03-3400-1311	脳とのかかわりから睡眠時無呼吸症候群の研究でも知られる。脳梗塞、脳腫瘍の治療を行うほか、日常的に起こる頭痛の悩みについては、頭痛外来で診察する。
<b>94 五十嵐久佳</b> 富士通クリニック(10月から)	神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1 ☎044-754-2051	頭痛といっても、深刻な病気につながる“怖い頭痛”と日常的な片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛があり、症状を見極めた治療を行う。10月からは東京クリニックでも診察を行う。
<b>95 間中信也</b> 温知会 間中病院	神奈川県小田原市本町4-1-26 ☎0465-23-3111	頭痛治療の第一人者。いち早く「頭痛大学」というサイトを立ち上げ、一般の人から医師を対象に、頭痛に関する知識や治療法など情報提供もを行っている。

## 生活習慣病をケア

<b>96 渡邊美和子</b> 東京ミッドタウンクリニック	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー6F / ☎03-5413-0083	会員限定の特別診療(ピジターは完全予約制予約料30分1万5000円)で個々の状態に合わせた病気の予防やアンチエイジングの医療相談にじっくりのってくれる。
<b>97 南雲久美子</b> 目黒西口クリニック	東京都品川区上大崎2-17-2 目黒グリーンビル6F / ☎03-3492-2660	漢方専門の内科医。生活習慣病はもとより、更年期の不調や不定愁訴にも丁寧に相談にのってくれる。鍼灸治療も実施している。
<b>98 徳井幹也</b> 徳井内科クリニック	神奈川県横浜市西区北幸1-2-13 横浜西共同ビル3F / ☎045-410-0355	生活習慣病は患者を継続して見続けることが重要とのモットーから、一人ひとりに対して質の高い医療を提供。糖尿病のエキスパートでもある。
<b>99 山内晃</b> するがクリニック	静岡県静岡市清水区庄福町9-23 ☎054-355-5655	糖尿病専門クリニックだが、院長は女性に特に多いとされる“甲状腺”の病気のスペシャリストでもある。代謝が落ちてくる年代の食生活の改善の指導も行う。
<b>100 赤澤純代</b> 全沢医科大学 総合診療センター	石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎076-218-8319	女性の老化には心と体がつながっており思考の影響も見逃せないとして、個人の生活習慣から内面に合わせたオーダーメイドの抗加齢医療や漢方処方等を行う。
<b>101 田中裕幸</b> ニコークリニック	佐賀県武雄市北方町志久1574 ☎0954-36-5777	更年期以降の女性のヘルスケアに詳しく、閉経後に上昇する血圧やコレステロールの管理など女性特有の生活習慣病について、適切な対処法をアドバイス。
<b>102 渡邊賀子</b> 帯山中央病院	熊本県熊本市帯山4-5-18 ☎096-382-6111	女性外来の視点で、漢方を専門に女性の不調に幅広く対応してくれる。麻布シユーズクリニック(東京)での診察もを行っている。

**女性特有の頭痛に 効率的なサプリメントも**

女性特有の頭痛は大きく分けると2種類ありと工藤さんはいう。

「更年期世代の人に多いのは、頭全体から首にかけて締めつけられるような頭痛。台風など低気圧になるとなりやすい。根本的治療は難しいので、天気予報をチェックして気圧が低くなりそうときは鎮痛剤をのむといいでしょう。吐き気を伴うことはありません」

もうひとつは、血中の鉄不足による頭痛。「脳に酸素を運ぶ血清鉄とフェリチンが不足すると血管が膨張して頭痛が起ります。健康診断ではわからないので、隠れ貧血とも呼ばれます。この頭痛の症状に私が処方しているのが血中の鉄を補うサプリメント。これでだいぶ症状がやわらぎます」

自分の頭痛がどのタイプなのか確認するた

## 名医に聞く!



くどうちあき 脳神経外科クリニック  
**92 工藤千秋さん**

鉄を補うサプリメント「森の晩餐」

「オーパー40世代になると、生活習慣病が増えるのは、いままでも女性ホルモンが守ってくれたさまざまなバリアーが解けてしまうからです。悪玉コレステロールが増えていくのも、中性脂肪が増えていくのも、女性ホルモンの減少に関係しています(増田さん)」

ホルモンの減少で筋肉や粘膜も弱くなることから、尿漏れなどの症状も出てくる。

「尿漏れは、薬でも治療でき、骨盤底筋群の体操も有効。重症の人には手術も」(増田さん)

ホルモンの減少と関係あるその他の病気